

# 関東学院大学とベトナム国家大学ハノイ工科大学による共同教育プログラムについて

## 社会基盤を支える土木技術者を育成するカリキュラム導入と教員養成支援

関東学院大学は協定校であるベトナム国家大学ハノイ工科大学（VNU-UET）が2018年に開設した新しい「土木工学科」に、日本の中核技術者・実務者養成を目的とした、座学と実験・実習・調査を組み合わせたカリキュラムと、研究室を主体とした教育プログラムを共同開発・運営し、その教員養成の支援を行っている。新しい「**土木工学科**」には、海外の土木教育課程にありがちな数値解析と都市計画を中心としたカリキュラムでなく、関東学院大学が実践してきた、自然を理解し、座学で学ぶだけでなく、「見て」、「触れて」、「作って」という工学の基本と、土木工学に関連する諸事象を「実験」を通して理解していくことに加えて、社会や経済、防災や環境について学ぶ実践的なカリキュラムを提供する。また、研究室での教育をベースに、教員と学生が特定課題を解決していくプロセスを通して、技術者として、青年として、人としての成長を促す教育理念を提供している。さらに、VNU-UETから継続的に若手教員を招聘し、日本式の実験装置や実験方法を学び、最新かつ教育・研究に特化した実験装置や実験方法を修得し、ベトナムで研究室の運営が出来るよう、研究教員の養成を支援している。

### 実施体制

関東学院大学（KGU）

理工学部・土木学系  
総合研究推進機構  
防災・減災・復興学研究所

プログラム・カリキュラム提供  
授業内講義  
教員養成支援

ベトナム国家大学ハノイ  
工科大学（VNU-UET）  
土木工学科

連携協力・日越交流促進  
交換留学生



# 日本式中核技術者養成プログラム移植の目的

## ベトナムで土木技術 を発展させていく技術者 をベトナムの手で 育成するプログラム

大きな発展の過程にある国々においては、土木工学を学ぶ学生の多くがその国のトップエリートである。数学や物理や語学の能力も抜群に優れているため、理論、解析、数値シミュレーションといった分野や国の将来を担う国土計画学にどうしても傾注しがちである。国家の指導的立場に付く学生も多くいるが、海外や国内の大学院を経て、海外の設計会社や建設会社等に職を求める人も多く、またそれはベトナム人学生にとって一つのサクセスストーリーである。一方で、ベトナムの大型土木事業の現状は、ODA以外の公共事業でも、例えば欧米のコンサルタント会社が設計に関わり、施工は中国や韓国の建設会社が担うといった事例も多々見受けられる。土木作業員として働くベトナムの国民に給与という形で、或いは、ベトナムの資材関係者には材料の購入代金という形で、ベトナム国家から出たお金が循環することになるが、最も大きな利潤を生む、設計や施工管理という部分はベトナムの資金が海外に流れていくことも否めない。さらに問題なのは、設計技術や施工技術がベトナム国民の手に残らず、いつまでも技術の蓄積がなされない点である。既に欧米や日本から技術支援や教育支援がなされている大学（土木工学科）はあるが、中核技術者としてベトナムに設計技術、施工技術、施工管理技術と、それを定着指導していく人材を育てる教育課程を設けることが目的である。

## 提供教育プログラム

### 「関東学院大学における実践的土木技術者育成プログラム」

- ・教育理念の相互理解
- ・カリキュラムの提供、共同作業によるカリキュラム改変
- ・研究室、ラボの開設に関する技術支援
- ・関東学院大学の教員による出張講義、特別講義
- ・教員の日本への招聘
- ・教育実践方法の修得支援
- ・実験室の運営支援
- ・日本の建設関連企業との連携支援

